

01 広域応援部隊の

受援体制を強化

津市災害時受援計画 (令和7年2月改定)

人命救助の目安となる発災から72時間までの間に、広域応援部隊をいかにスムーズに受け入れ、どのように活用すれば効果的な支援が行えるか、必要な行動について見直しました。

POINT

- ☑ 全体構成の見直し
- ☑ 救助関係機関等との連携体制の整理
- ☑ 救助活動拠点等の選定
- ☑ 受援対象業務の具体化



広域応援部隊による捜索活動(能登半島地震)

津市道路啓開計画 (令和7年2月策定)

国土交通省が中心となり策定した「中部版くしの歯作戦」や「三重県緊急輸送道路ネットワーク」などの対策と連携し、迅速かつ効率的な道路啓開の対応を定めました。

POINT

- ☑ 優先啓開ルートの選定
- ☑ 国や県等の道路管理者と連携した情報収集、道路啓開体制を確立



岩手県釜石市での道路啓開(東日本大震災)



くしの歯ルート

伊勢自動車道、国道23号中勢バイパスから、沿岸部に伸びる県道や市道と沿岸沿いの国道23号などを、受援・救急ルートの確保に向けて切り開くルート。

三重県緊急輸送道路 (重複区間はくしの歯ルートを優先して表示)

伊勢自動車道、国道23号・165号、中勢バイパスなどの一般国道と、これらを連絡する県道などの幹線道路等と地方公共団体の庁舎等をつなぐ道路。

進出拠点(三重県広域受援計画)

県外からの自衛隊、警察、消防等の広域応援部隊が、活動のために進出する拠点

進出拠点(津市広域消防受援計画)

県内の消防機関が、活動のために進出する拠点

救助活動拠点(三重県広域受援計画)

広域応援部隊等が部隊の指揮、宿営、資機材集積、燃料補給などを行う拠点



広域応援部隊は、安濃SAなどの進出拠点に、向かいます！救助活動拠点を結び、向かいます！



津市消防本部 特別救助隊 隊員

広報つ!

02 優先啓開

ルートを選定

災害発生時には、くしの歯ルート・三重県緊急輸送道路と、主要な防災拠点等を結ぶ道路や孤立集落を解消する道路等を「優先啓開ルート」として選定し、国・県・市と地元建設業者が連携し、順次啓開していきます。

津市では、広域応援部隊の受け入れを行うまでの間に啓開する2つの優先啓開ルートとして、「受援想定ルート」と「救急想定ルート」を定めました。

救急想定ルート

市内の各消防署から、被害想定をもとに甚大な被害が予想される区域として定めた8つの「救出救助重点地域※」までのルートと、自衛隊・警察・消防・医療機関の周辺道路を事前に定めたもの。

発災直後から救急想定ルートの通行確保を速やかに行うことにより、地元救助機関による円滑かつ迅速な負傷者の救命救急活動や消防活動が可能となります。

※河芸地域、津地域(一身田・大里地区、橋北・西郊(北部)地区、西橋内・敬和地区、橋南・西郊(南部)地区、南郊地区)、香良洲地域、久居地域

例2 救急隊・救助隊等が、消防署から救出救助重点地域へ向かうケース

- ① 最寄りの消防署…中消防署
- ② 代替え消防署…西分署
- 救出救助重点地域…西橋内・敬和地区
- メインルート — 代替ルート



災害発生時は緊急車両の通行確保にご協力ください

津市消防本部 救急救命士

移動式のトイレ車両を整備

大規模災害が発生した際に、避難所で衛生的なトイレ環境を維持するため、令和7年度に移動式トイレ車両を整備します(予算…3662万9000円)。
トイレは男性用・女性用・多目的用の3室あり、各室に洋式水洗便座と手洗い洗面台を備えています。また、多目的トイレにはおむつ交換台や車椅子用の電動昇降機も付いています。



同様の車両を所有する自治体と相互に支援を行います！



津市防災室 職員

受援想定ルート

自衛隊・警察・消防の広域応援部隊が支援地域へ入る際の進出拠点から救助活動の拠点となる各救助活動拠点(候補地)までのルートを事前に定めたもの。

広域応援部隊は、救助活動拠点を中心に、周辺地域の救助活動等を行うことになります。

例1 災害派遣部隊である自衛隊が、進出拠点から救助活動拠点へ移動するケース

- ① 進出拠点…安濃SA下り線
- ② 救助活動拠点…HOWAパーク
- メインルート — 代替ルート

